

定例工学研究科教授会議事録

日 時	平成24年4月11日(水) 14時10分～14時50分 15時30分～15時45分
場 所	工学研究科大会議室
出席者	金井研究科長 ほか86名
欠席者	堀切川、内山、羽根、浅井(航空)、石井、大津、山口(正)、山田、佐橋、工藤板谷、熊谷、貝沼、小山、粉川、川崎、大村、原田、京谷(孝)、石田、五十嵐、前田、大井、小池(淳)、江刺、松浦、梅村、佐藤(正)、山口(隆)、芳賀、小玉、の各教授
外国出張	金子、西澤、の各教授

1. 前回記録確認

議長から、平成24年3月9日(水)開催の定例工学研究科教授会議事録案について諮り、原案どおり承認した。

2. 人事異動

議長から、人事異動について配付資料に基づき報告があった。

3. 委員会等報告

議長から、前回の工学研究科教授会以降にかかる委員会等報告は、グループウェアに掲載してある旨発言があり、補足説明、追加報告等なく了承した。

4. 審議事項

(1) 工学研究科教育研究評議会評議員候補者の選考について

議長から、平成24年3月7日開催の本教授会において、平成24年4月1日からの教育研究評議員として、原信義教授を候補者に決定していたが、同教授が平成24年4月1日付けで理事に就任されたことに伴う候補者の再選考について提案があり、東北大学大学院工学研究科教育研究評議会評議員互選内規に基づき選挙を実施した。

第1回目の投票で投票総数の過半数を得た者がいなかったため、最高得票者 米本年邦教授と次位者 澤田恵介教授及び長坂徹也教授による決選投票を行なったが、この結果においても投票総数の過半数を得たものはいなかった。

このため、東北大学大学院工学研究科教育研究評議会評議員互選内規に基づき、最高得票者 米本年邦教授と次位者 澤田恵介教授による決選投票を行い、澤田恵介教授が得票総数の過半数を獲得したので、同教授を評議員候補者に決定した。

なお、任期は平成24年4月12日から平成26年3月31日までとなる旨付言があった。

(2) マイクロ・ナノマシニング研究教育センター副センター長候補者の選考について

議長から、本年4月から、マイクロ・ナノマシニング研究教育センターに、新たに副センター長を置くこととなったため、この候補者の選考について提案があり、同センター長から配付資料のとおり田中秀治准教授を推薦することとした旨報告があり、審議の結果、同教授を副センター長候補者に決定した。

(3) 東北大学大学院工学研究科研究科長補佐に関する内規の制定について

議長から、東北大学大学院工学研究科研究科長補佐に関する内規の制定について配付資料により提案があり、審議の結果、これを承認した。

(4) 東北大学大学院工学研究科研究科長補佐の選考について

議長から、東北大学大学院工学研究科研究科長補佐に橋爪秀利教授を指名したい旨発言があり、これを承認した。

5. 報告事項

(1) 各種研究員の受け入れ報告について

議長から、各種研究員の受け入れ報告について配付資料に基づき報告があった。

6. その他

(1) 中央棟大会議室の椅子、マイク等の諸設備について、会議を行うための部屋としては非常に使い勝手が悪いので是非改善願いたい旨発言があり、これを検討することとした。

以 上